

令和8年度 下田市学校教育の基本方針

教育の理念

『好き』を伸ばし 未来を創る

学校教育の目標

未来に向かってたくましく、しなやかに生きる子を育む

I 下田市学校教育の基本方針

伊豆天城から、のどかな里山を流れる川は碧く輝く美しい海に注ぎ込み、下田の豊かな自然を育んでいます。その豊かな自然は、今も昔も変わらず子どもの成長を支えています。下田市教育委員会では、「『好き』を伸ばし 未来を創る」を教育理念とし、その実現に向け、具体的な手立てや方法を模索していきます。学校教育では、下田の自然・歴史・文化など豊かな資源を活かした教育活動、学校間・校種間の交流活動、異文化交流を積極的に展開し、「未来に向かってたくましく、しなやかに生きる子を育む」ことを教育目標とします。

II 現状と課題

子どもたちを取り巻く環境は、少子高齢化、人口減少社会、環境問題、大規模災害など、急速な社会の変化に加え、従来の思考や方法が通用しない予測困難な時代を迎えており、未来がどうなるかは実のところ誰にも分かりません。しかし、子どもたちが未来を創っていくことは間違いのない事実です。このような社会を生き抜く子どもたちに必要な力を育むためには、発達段階に応じた各教科・領域の特質や見方・考え方を踏まえた確かな学びはもちろん、一人一人が一心に取り組めることを見つけ、自分らしさを存分に発揮できる教育環境を整えることが重要と考えています。

記憶に新しい新型コロナウイルス感染症拡大以降数年が経過し、学校現場では業務改善を推進しながら従来の取組を再構築して様々な活動に取り組んでいます。基盤となる授業では、小・中学校とも「対話的な学び・協働的な学び」を通じた授業実践を積み重ね、児童生徒も教職員も互いに高め合い、充実した授業づくりを推進しています。中学校ではコミュニ

ティ・スクール導入から3年が経過し、地域の人材や企業、関係団体と共に学校をつくる営みに、総合的な学習の時間の効果的な展開がつながり、キャリア教育の推進に成果を上げています。それにならい小学校も同様にコミュニティ・スクールの活動が活性化し、それぞれの学校の特色や持ち味を生かしながら、地域とのつながりを大切にした教育活動に取り組んでいます。子どもも大人も共に学び合い、「地域ぐるみ」で子どもの成長を支える環境づくりがこれからの下田の教育の鍵となります。未来を切り拓いていくたくましさ、しなやかさの土台となるものは、下田の豊かな自然や歴史・文化、地元企業や志をもって活躍している地域人材等の教育資源を生かした、下田ならではの体験活動です。そのために令和8年度も、「小・中学校グローバルCITYプロジェクト事業補助金」を活用し、児童生徒にとってより一層充実した豊かな体験活動を推進します。

その中で開国のまち「下田」に生まれ、育つ子どもたちが、グローバルな舞台でも活躍できるよう、黒船交流やニューポート生徒派遣事業、玉川大学との交流や上智大学等との連携を進め、英語力の向上や異文化理解、多様性を尊重する教育活動を推進していきます。また、引き続き重要となる学校現場のDX化によって児童生徒一人一台端末、学習支援システム、校務支援システム等各校では着実に効果的な活用が進められています。令和6年度から地域活性化起業人による支援体制を整備し、各校へ派遣することで、ICT教育の一層の充実と、教職員の業務改善を進めています。

防災教育については、安全・安心な学校生活をめざし、環境整備・体制整備を進める必要があります。時と場に応じた判断・行動ができる子どもの育成に向けた取組をさらに進めるために、危機管理マニュアルの更新とともに災害時の避難のあり方を柔軟に見直し、計画的に再確認していきます。

また、現在策定中の次期学習指導要領を見据えながら子どもたちの将来を見つめ、5年後、10年後のより魅力的な小学校の在り方、中学校の部活動の在り方等、取り組まなければならない課題を明確にし、多角的な視点から知恵を出し合い、下田市ならではの学校教育の実現を目指します。

Ⅲ 教育目標を実現するための5つの取組

教育目標「未来に向かってたくましく、しなやかに生きる子を育む」を実現するための、5つの取組とその基盤整備に関する手立ては以下のとおりです。

取組目標Ⅰ 心とからだ 生き生き元気

その子らしさを大切に、安心して存分にその子の資質・能力を伸ばすことができる教育環境を整え、健やかな心身の育成を目指します。

◆施策1 心身の健全育成とスポーツ振興

食育やスポーツ活動を通して健やかな心身の育成を図るとともに、学校と地域が連携し、生涯にわたりスポーツに親しむ環境を整えます。

- ・学校給食管理運営事業の推進

関連予算：学校給食管理運営事業 241,821 千円

- ・部活動地域展開・部活動指導員配置事業の推進

関連予算：部活動支援業務委託 968 千円

部活動指導員報酬 722 千円

中学校部活動在り方検討委 64 千円

- ・小中学校児童生徒対外派遣費補助金の有効活用

関連予算：小中学校児童生徒対外派遣費補助金 3,250 千円

◆施策2 安全・安心の確保

通学路や学校生活における安全対策を強化し、防災・防犯意識の向上と地域ぐるみの見守り体制を推進することで子どもが安心して生活できる環境を整備します。

- ・通学路安全対策事業・中学生自転車通学安全対策の推進

関連予算：中学生自転車損害賠償保険等補助金 257 千円

- ・防災・防犯教育の推進と、学校施設の避難所機能としての再確認(整備・点検)

関連予算：子どもの体験型防犯講座参加負担金 20 千円

医薬材料費 361 千円

屋内運動場空調整備工事設計業務委託 6,721 千円

◆施策3 包括的な支援体制の充実（不登校・いじめ防止対策）

不登校やいじめ等の課題に対し、専門職や関係機関と連携した包括的な支援体制を充実し、一人一人に寄り添う支援により、安心して学べる環境を整えます。

- ・学校運営協議会、教育支援センター運営事業の推進

関連予算：下田市学校運営協議会委員 報酬 496 千円

教育支援センター運営事業 4,579 千円

- ・不登校等対策連絡協議会の推進

- ・いじめ防止対策の一層の充実

関連予算：下田市いじめ問題対策連絡協議会委員 報酬 56 千円

下田市いじめ問題対策専門委員会委員 報酬 42 千円

- ・スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーの配置と関係機関との連携強化

関連予算：スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーは県費対応

- ・特別支援教育体制推進事業の充実

関連予算：特別支援教育体制推進事業 50,854 千円

- ・複式対応講師の配置と、少人数指導・小規模学校の良さを生かした教育活動の推進

関連予算：複式対応講師（4 名）報酬・期末手当等 17,264 千円

- ・包括的性教育やがん教育等の側面から（自らの）健康づくりへの啓発

取組目標Ⅱ 自ら学び みんなで深める

一人一人のよさや可能性を引き出す魅力ある授業づくりを基盤とする中で、学校間・校種間の交流活動を推進します。

◆施策1 魅力ある授業づくり

児童生徒の主体的・対話的で深い学びの実現をめざした授業づくりを支援するとともに、教職員の研修体制の充実と、学校力の向上を図ります。

- ・魅力ある授業づくりへの支援

関連予算：小学校魅力化会議 講師謝礼 288 千円

小学校魅力化会議 会議参加者謝礼 276 千円

小学校魅力化会議 研修旅費 190 千円

教材備品 1,985 千円（小）1,355 千円（中）

- ・校内研修、初任者研修はじめ生徒指導、特別支援教育等にかかわる研修の充実
- ・未来の下田創造プロジェクト会議の計画的開催

関連予算：未来の下田創造プロジェクト会議 講師謝礼 192 千円

未来の下田創造プロジェクト会議 会議参加者謝礼 40 千円

- ・小学校魅力化会議の計画的開催

関連予算：小学校魅力化会議 講師謝礼 288 千円【再掲】

小学校魅力化会議 会議参加者謝礼 276 千円【再掲】

小学校魅力化会議 研修旅費 190 千円【再掲】

◆施策2 学校間・校種間の交流活動

市内小学校間、または小中異校種間の交流活動を充実させるとともに、こども園や高等学校との連携も図り、系統性をもった教育活動を推進します。

- ・付きたい力、ねらいを明確にした対面型授業とオンライン型授業の効果的な展開
- ・発達段階に即し、ねらいを明確にした交流活動の推進
- ・連携を密にした学校行事等の合同開催の推進
- ・姉妹都市ほか下田市外との交流の推進

◆施策3 ICT活用による学びの質の向上

ICT環境を活かした教育DXの推進により、「個別最適な学びと協働的な学び」を充実させ質の向上を図ります。

- ・GIGAスクール構想の一層の充実

関連予算：GIGAスクールサポーター配置促進業務委託 3,274千円（小）

GIGAスクールサポーター配置促進業務委託 1,872千円（中）

- ・小・中学校教育振興事業（ICT教育）の推進

関連予算：授業支援ソフト使用料 1,078千円

ソフトウェアライセンス使用料 2,386千円

- ・地域活性化起業人との連携による教育DXの一層の充実

関連予算：地域活性化起業人負担金 7,180千円

◆施策4 読書活動の充実

心豊かな子どもの育成を目指すべく校内図書館担当と市学校図書館司書、市立図書館の連携で学校図書館機能の一層の充実を図り、読書環境を整備します。

- ・学校司書の配置・新刊図書購入の推進

関連予算：図書購入費 1,490千円（小） 550千円（中）

学校図書館司書報酬・期末手当等（2名）6,992千円

- ・学校図書館蔵書管理システム導入拡大

関連予算：学校図書館管理システム使用料 616千円（小） 143千円（中）

取組目標Ⅲ 子どもも大人も 体験・探究

下田の豊かな自然と資源を生かした地域ぐるみの体験・探究活動を通して、豊かな感性を育み郷土への誇りと愛着を高めます。

◆施策1 地域資源を生かした探究活動の推進

地域資源を活用した体験活動を通して探究的な学びを推進し、郷土理解とキャリア形成につながる学習の充実を図ります。

- ・体験プログラム事業（下田グローバルCITYプロジェクト）の推進

関連予算：小中学校グローバルCITYプロジェクト事業補助金 4,500千円

- ・体験プログラム事業の充実をめざした地域人材活用の推進

関連予算：講師謝礼 112千円（小） 90千円（中）

- 下田市学校運営協議会委員 報酬 496 千円
- ・キャリア教育推進をめざした総合的な学習の時間の充実
関連予算：講師謝礼 112 千円（小） 90 千円（中）【再掲】
下田市学校運営協議会委員 報酬 496 千円【再掲】

取組目標Ⅳ 新たな発見 異文化交流

開国のまちの特色を生かした異文化交流を通して、柔軟なものの見方・考え方を育み、下田の魅力を再確認する活動を推進します。

◆施策1 外国語教育の充実

実践的な外国語教育を推進し、コミュニケーション能力を育成するとともに、英語力向上に向けた支援体制を充実します。

- ・英語力向上推進プロジェクト事業の一層の推進
関連予算：英語力向上プロジェクト事業補助金 1,000 千円
- ・英語検定受検推進事業の啓発と推進
関連予算：英語検定受検推進補助金 1,586 千円
- ・外国語活動及び外国語（英語）の授業における ALT（外国語指導助手）を生かした興味・関心が高まる授業づくり
関連予算：外国語指導助手謝礼 6,500 千円

◆施策2 多文化交流の推進

国際交流を通して異文化理解を深めるとともに、体験的な交流活動により国際感覚を養います。

- ・ニューポート市中学生派遣事業の推進・英語検定受検推進事業の啓発と推進
関連予算：ニューポート市中学生派遣補助金 3,800 千円
- ・「下田市グローバルアンバサダーを生かした、将来を見据えたグローバル人材の育成
- ・各学校特有の良さを生かした体験プログラム事業（下田グローバル CITY プロジェクト）の推進と充実
関連予算：小中学校グローバル CITY プロジェクト事業補助金 4,500 千円【再掲】

教育政策推進のための基盤整備に向けた取組

◆施策1 教育機会の確保と経済的支援

すべての子どもに等しく教育機会を確保し、経済的負担の軽減を図り、安心して学べる環境を整えます。

- ・高等学校等通学費補助事業の推進
関連予算：高等学校等通学費補助金 9,000 千円
- ・教育資金利子補給・奨学奨励費交付事業の推進
関連予算：教育資金利子補給事業補助金 325 千円
下田市就学奨励交付金 500 千円
- ・児童・生徒援護事業の推進
関連予算：準要保護児童就学援助費 631 千円
準要保護生徒就学援助費 2,026 千円
特別支援教育就学奨励費 430 千円（小）、878 千円（中）
- ・児童・生徒通学費補助事業の推進
関連予算：児童通学費補助金 1,500 千円
生徒通学費補助金 31,711 千円

◆施策2 教育環境の整備

安全で快適な学習環境を整備するとともに、ICT 環境や校務体制の充実を図ります。

- ・小中学校管理事業の推進
関連予算：修繕料 6,260 千円（小） 2,105 千円（中）
屋内運動場空調整備工事設計業務委託 6,721 千円【再掲】
- ・小・中学校教育振興事業（ICT 環境整備）の推進
関連予算：パソコンネットワーク保守業務委託 2,505 千円（小） 3,811 千円（中）
教職員用パソコンリース料 6,556 千円（小） 2,895 千円（中）
電子黒板リース料 2,118 千円（小） 593 千円（中）
GIGA スクールサポーター配置促進業務委託 3,274 千円（小）【再掲】
GIGA スクールサポーター配置促進業務委託 1,872 千円（中）【再掲】
- ・学校徴収金システムの導入
関連予算：学校徴収金システム利用料 483 千円
- ・賀茂地域校務事務共同化協議会の充実と見通しをもった推進
関連予算：賀茂地域校務事務共同化事業負担金 4,103 千円

◆施策3 地域連携による学校運営

地域とともにある学校づくりを推進し、保護者・地域住民とより連携を深めた学校運営体制を構築します。

- ・令和7年度の実績・検証・分析に基づいたコミュニティ・スクールのより一層の推進
関連予算：下田市学校運営協議会委員 報酬 496 千円【再掲】